

第1章 地球のすがた

① 地球のようす

(1) 水の惑星

太陽系に属するほぼ球体(東西にやや膨らんでいる)の惑星で、表面積のおよそ(7)割が海洋であるため青く見える。半径はおよそ(6,400)km、一周はおよそ(40,000)km、表面積はおよそ(5.1)億 km²である。陸地は北半球に多く存在している。

(2) 六大陸と三海洋

①六大陸…(ユーラシア)大陸、(アフリカ大陸)、(北アメリカ大陸)、(南アメリカ大陸)、(オーストラリア大陸)、(南極大陸)。

②三海洋…(太平洋)、(大西洋)、(インド洋)。

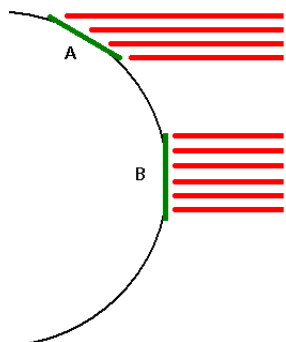
(3) 地球上の位置

地球上の位置を表す座標を(緯度)・(経度)という。緯度は赤道を基準(0度)として、南北にそれぞれ(90)度までである。そして同じ緯度を結ぶ線を(緯線)という。経度はイギリスのロンドンを通る(本初子午線)を基準(0度)として、東西それぞれ(180)度までである。そして北極と南極を結ぶ線を(経線)または子午線という。

② 緯度と季節

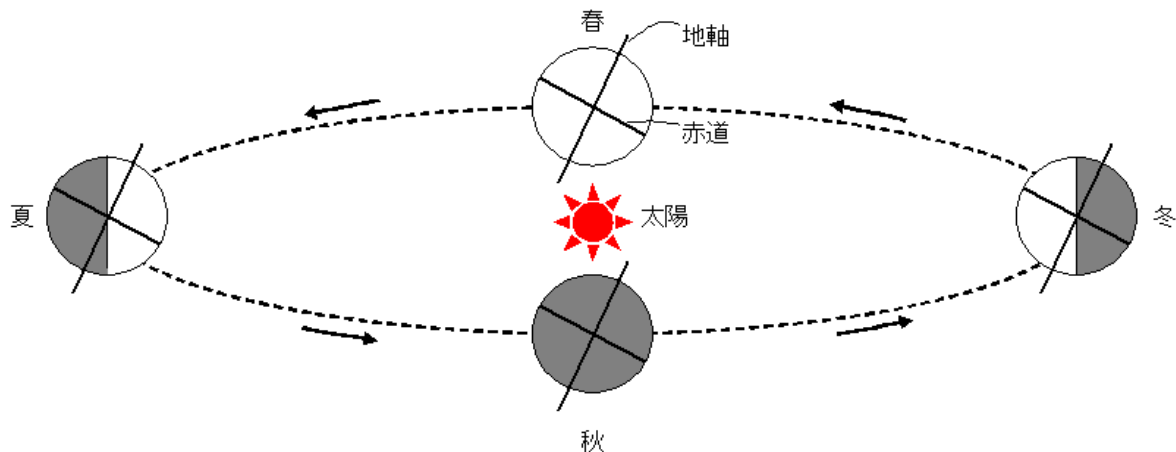
(1) 緯度と気温

地球上の高緯度地域(下の図のA)にいくほど低緯度地域(下の図のB)よりも同じ面積にあたる太陽からの光の量は少なくなる。そのため、高緯度地域ほど気温が低くなる。



(2) 季節の変化

地球は、下の図のように太陽の周りを反時計周りに1回転すると1年が経つ。そして地軸が23.4度(=23度26分)傾いて回っているために季節の変化が生じる。北半球は6月頃が一番太陽の光が大量にあたるために夏になり、12月頃が一番太陽の光があまり当たらないために冬になる。南半球はそれと正反対になる。また赤道周辺では1年を通して太陽の光がよく当たるために、季節の変化が乏しく年中高温である。



(3) 北回帰線と南回帰線

太陽が真南にきた時の太陽の高度を南中高度という。南中高度は季節によって変化する。これは地球が23.4度(=23度26分)傾いた状態で太陽の周りを公転しているからである。上の図を見れば分るように、赤道上では(春分)と(秋分)の日に南中高度は垂直(=90度)になる。また、北半球の(夏至)の時には北緯23.4度(=23度26分)の地点で、南中高度は垂直(=90度)になる。同じように、南半球の(冬至)の時には南緯23.4度(=23度26分)の地点で、南中高度は垂直(=90度)になる。この北緯23.4度と南緯23.4度の緯度が、太陽が真上にくる限界緯度になっている。これを北回帰線、南回帰線という。

③ 経度と時差

(1) 緯度と時差

地球は1回転(=360度)自転するのに24時間を費やしているので、 $360\text{度} \div 24\text{時間} = 15\text{度}$ から、15度の経度差があると1時間の時差があることがわかる。それゆえ2点間の時差を求めるときは、【2点間の経度差 \div 15度】で求めることができる。

(2) 日付変更線

経度180度の線に沿って引かれている線であるが、陸地にかからないように引かれているため、経線のように真直ぐではない。この線を西から東へ越えるときは日付を一日(戻し)、東から西へ越えるときは日付を一日(進める)。

(3) 標準時子午線

各国には、国の標準時を決める経線がある。この経線のことを(標準時子午線)という。日本の標準時子午線は、(兵庫)県(明石)市を通る(東経135度)の経線である。

2 地球儀と世界地図

(1) 地球儀

地球をそのまま縮小した模型で、距離・面積・方位・角度が正確に読み取れる。また、陸地と海洋の位置関係なども読み取り易い。

(2) 地図

地図は平面であるため、全てのことを正確に表せないが、目的に合わせて作られているので、ある特定のことを調べるには便利である。

- ①方位図法…中心からの方位が正しい地図。航空図に利用される。正距方位図法など。
- ②正積図法…面積が正しい図法。メルワイデ図法、サンソン図法、グード図法など。
- ③正角図法…角度が正しい図法。航海図に利用される。メルカトル図法など。

(3) 正距方位図法

正距方位図法は中心からの(距離)と(方位)が正しい地図である。下の正距方位図法は東京を中心とする正距方位図法である。中央経線に対して角度90度右が真東を表し、角度90度が真西を表している。そして、図の直径は地球の(円周)を表している。

<< 関連語句 >>

■北極圏…北緯66度34分～北極点までの高緯度地域。

■南極圏…南緯66度34分～南極点までの高緯度地域。

■白夜…夏、高緯度地域における太陽が地平線から深く沈まない状態。

■極夜…冬、高緯度地域における太陽が地平線から昇らない状態。

■たいせきてん対蹠点…地球の反対側(真裏側)の地点。例えば、北緯35度、東経135度の対蹠点は南緯35度西経45度の地点。

<< 参考図書 >>

『中学生の地理』(平成24年発行 帝国書院)

『チャート式シリーズ 中学歴史』(新指導要領準拠版 第2刷 平成6年発行 数研出版)

『中学総合的研究 社会』(改訂版 平成21年発行 旺文社)

『中学社会 自由自在』(改訂第2刷版 平成25年発行 受験研究社)

『徹底演習テキスト 中学地理』(2013年度用 受験研究社)

『シリウス21 地理 I』(育伸社)

『中学実力練成テキスト 地理』(文理)

『新中学問題集 地理 I』(教育開発出版株式会社)